

## ExcelCreator 2012の対応機能※1

ExcelCreator 2012で対応するExcel®の主な機能は次の通りです。

ページ設定	ページ(印刷の向き、拡大縮小印刷※2、用紙サイズ)、余白(余白、ページ中央)、ヘッダー/フッター※3、シート(印刷範囲※4、印刷タイトル※4、ページの方向)
セルの書式設定	表示形式、配置(横位置※5、縦位置、文字の制御、方向)、フォント(フォント名、スタイル、サイズ、下線、色、文字飾り)、罫線(線、色)、塗りつぶし(背景色、パターンの色、パターンの種類)
図※6	図の設定、オートシェイプの設定
その他	シート名、シートの追加/削除/コピー、行の高さ、列の幅、行の挿入/削除/コピー、列の挿入/削除/コピー、セルのクリア/コピー

※1 ExcelCreator 8.0 for .NET、ExcelCreator 5.0 for .NETの対応機能です。 ※4 xlsx形式のExcel®ファイルのみ対応しています。  
 ※2 "次のページ数に合わせて印刷"の設定には対応していません。 ※5 "インデント"の設定には対応していません。  
 ※3 ヘッダー/フッターの画像の挿入には対応していません。 ※6 "3D"、"影"、"グラデーション"、"テクスチャ"の設定には対応していません。  
 上記に掲載のないExcel®の機能は、弊社までお問い合わせください。

## 開発環境、動作環境に合わせた製品構成

ExcelCreator 2012は、Excel®のファイル形式(xlsx形式、xls形式)や、動作環境ごとに、4つの製品(バージョン)を収録した統合パッケージです。

ExcelCreator 2012				
製品名	ExcelCreator 8.0 for .NET	ExcelCreator 5.0 for .NET	ExcelCreator Ver3.6	ExcelCreator Ver3.0
開発環境	.NET		ActiveX	
ファイル形式	xlsx※1	xls※2	xlsx※1	xls※2

※1 Excel® 2007/2010の標準ファイル形式(xlsx形式)に対応。 ※2 Excel® 2000/2002/2003の標準ファイル形式(xls形式)に対応。

**ライセンス** ExcelCreator 2012のランタイムファイルは、クライアント環境への再配布時のみロイヤリティフリーです。サーバー環境へ再配布する場合は、製品ごとに別途サーバーライセンスが必要となりますので、詳しくは弊社までお問い合わせください。

## 必要システム※1、※2

OS	Windows® XP (SP3 以上) / Vista® (SP1 以上) / 7 Windows Server® 2003 (SP2 以上) / 2003 R2 (SP2 以上) / 2008 (SP1 以上) / 2008 R2
開発ツール	Visual Studio® 2005 / 2008 / 2010
対応言語	Visual Basic® .NET、Visual C#® (Windows®アプリケーション、ASP.NET Webアプリケーション)
ハードディスク/メモリ	20MB以上の空き容量/1GB以上
フレームワーク	.NET Framework 2.0 (SP1 以上) / 3.0 (SP1 以上) / 3.5 / 4
Excel® バージョン	Excel® 2007/2010 (ExcelCreator 8.0 for .NET) Excel® 2000/2002/2003 (ExcelCreator 5.0 for .NET)

※1 日本語版環境でのみ動作保証を行っております。  
 ※2 ExcelCreator 8.0 for .NET、ExcelCreator 5.0 for .NETの必要システムです。  
 ExcelCreator 2012に収録されている全製品の最新情報は弊社Webサイトでご確認ください。

■標準価格 63,000円(税込み)1クライアント開発ライセンス

販売に関するお問合せは下記をご利用下さい。

ホームページ ▶ <http://www.adv.co.jp/>

 **アドバンスソフトウェア株式会社**

〒918-8239 福井県福井市成和1丁目2816番地  
 TEL.0776-21-9008(代) FAX.0776-21-9022 E-mail:info@adv.co.jp

※表記中の会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。  
 ※仕様は品質改良の為、予告無く変更することがあります。

取扱店

Excelファイル生成ツール

# ExcelCreator 2012

プログラム上で Excel®ファイルを高速生成!  
 より高速になったxlsx形式対応の最新バージョン(.NET版)を収録した  
 Excel®ファイル生成ツール統合パッケージ。

今やビジネス文書の標準的な作成手段となった Excel®。表計算からデータ収集、分析まで幅広い分野で活用されており、システム開発においても多くのユーザーから「Excel®で出力を行いたい」という要望は自然に出てきます。ExcelCreator 2012は、Excel®ファイル(xlsx形式、xls形式)を効率よくプログラム上で生成できる「Excel®ファイル生成ツール」です。Excel®を使用せず、独自技術によりファイルを高速に生成しますので、パフォーマンスに優れたアプリケーションを開発することができます。Windows®アプリケーションから Webアプリケーションまで、Excel®を生かしたシステム開発を大きく支援します。

## さまざまなアプリケーションに対応したExcel®ファイル生成機能

ExcelCreator 2012は、次のExcel®ファイル生成機能を提供します。

### Excel®ファイルを新規作成

プログラムからExcel®ファイルを新規に生成することができます。

### 既存のExcel®ファイルをオープン

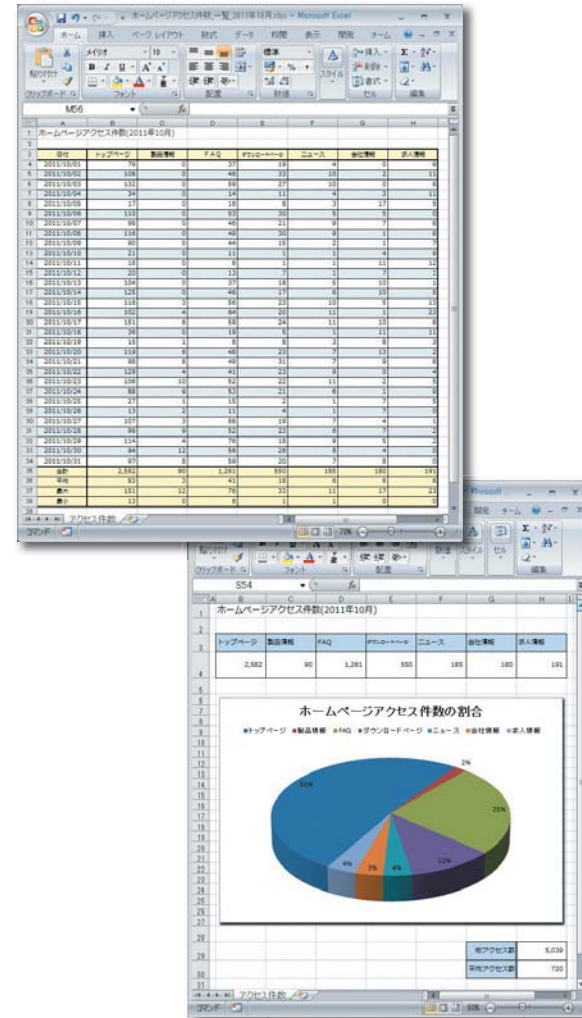
プログラムからExcel®ファイルをオープンし、セルの値の読み取りや、セルに値や書式を設定して上書き保存することができます。セルの値の読み取りのみを行う場合、読み取り専用でオープンすることもできます。

### オーバーレイオープン

Excel®であらかじめ罫線などの枠組み(テンプレート)だけを設定しておき、プログラムからはテンプレートに対してデータだけを設定して別のExcel®ファイルに保存する機能です。テンプレートはエンドユーザーが作成することもできるので、ニーズに合った開発ができます。また、オーバーレイオープンに使用するテンプレートのExcel®ファイルは、プログラムに埋め込んで使用することもできます。

### PDFファイル出力に対応(.NET版)

新規作成、オープン、オーバーレイオープンしたExcel®ファイルは、そのままのイメージでPDFファイルに出力することもできます。



## Excel®ファイルを高速生成/実行環境にExcel®は不要

ExcelCreator 2012は、独自技術により Excel®なしで高速に Excel®ファイルを生成します。

### 処理速度例\*

例1) 10列×1,000万行(1万セル)の明細を出力

Excel Object	約9秒
ExcelCreator 2012	約0.4秒

例2) 20列×5,000万行(10万セル)の明細を出力

Excel Object	約77秒
ExcelCreator 2012	約1秒

サーバーなどで Excel®がインストールされていない環境でも、Excel®ファイルを生成するアプリケーションを構築できます。

※ExcelCreator 8.0 for .NETの処理速度です。また、処理速度は、マシンスペックやデータ形式により異なります。  
OS: Windows® 7 Ultimate 32bit, CP: Intel® Core2 Duo 3.00GHz, メモリ: 3GB の実行マシンでの結果です。

## シンプルなコーディングでExcel®ファイルを簡単に生成

ExcelCreator 2012によるExcel®ファイルの生成は、たった3段階のコーディングで実現可能です。

### コーディング例(C#)

```
// ① Excel®ファイル(NewBook.xlsx)を新規作成
xlsxCreator1.CreateBook("C:\NewBook.xlsx", 3, xlsxVersion.ver2010);
// ② A1 セルに値を差し込み
xlsxCreator1.Cell("A1").Value = "アドバンスソフトウェア株式会社";
// ③ Excel®ファイルをクローズ
xlsxCreator1.CloseBook(true);
```

### 豊富なセルの指定方法

値を差し込むセルの指定は、"A1 参照形式"、"座標形式"、"セルの名前"、"変数名"の4つの方法を使用することができます。

### コーディング例(C#)

```
// A1 参照形式
// セル位置を "A1" のように直接文字列で指定できます。
xlsxCreator1.Cell("A1").Value = 1000;

// 座標形式
// セル位置を(0, 0)のように座標形式で指定できます。
xlsxCreator1.Pos(1, 1).Value = 1000; // B2 セルに 1000 を設定

// セルの名前
// Excel® の名前ボックスに入力したセルの名前で指定できます。テンプレートで名前位置を
// 変更すれば、プログラムを変更せずにデータの設定位置を変えることができます。
xlsxCreator1.Cell("金額").Value = 1000;

// 変数名
// セルに設定した特定のキーワード文字列 (デフォルトで"***") から始まる文字列(例:"**金額")で指定できます。
// テンプレートで変数名の位置を変更すれば、プログラムを変更せずにデータの設定位置を変えることができ、
// さらに複数のセルに同じデータを設定したい場合などに便利な機能です。
xlsxCreator1.Cell("**金額").Value = 1000;
```

### シート、セルの操作

値の差し込み以外に、シートごとのページ設定、セルの罫線や背景色などのセル書式、図、オートシェイプの設定が可能です。また、セル、行、列、それぞれの単位でのコピー、クリアや、シートのコピー、削除の機能も提供します。

## 新機能※1

### パフォーマンスの向上を実現 **New!**

ExcelCreator 6.0 for .NETと比べてメモリ消費量を小さく抑える設計で、Excel®ファイル生成の処理速度を向上しました。また、Excel®ファイル生成時の動作モードとして、よりメモリ消費量を抑えるモード※2を追加し、大量のデータを扱う処理にも対応しています。

### コードデザイナー **New!**

複数のセルに書式やデータを設定する場合、Excel®がインストールされた環境では、新しく追加されたコードデザイナー上にExcel®から直接目的のセルをドラッグ&ドロップし、展開したそれぞれのセルに対して必要なデータや表示形式、罫線、背景色等を設定して、ソースコードを自動生成することができます。

### 100%マネージコード **New!**

100%マネージコードで実装したコンパクトなコンポーネントなので、プラットフォームに依存しないアプリケーションを開発することができます。

※1 新機能は、ExcelCreator 8.0 for .NET のみ対応しています。

※2 このモードはプログラム中で選択できます。また、このモードを使用する場合、コピー処理などの機能に一部制限があります。